

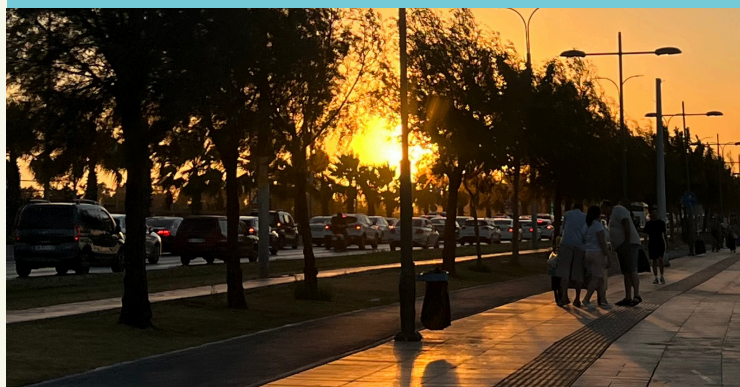
6 HAZIRAN

IN TURKEY

Natsumi Aoki

はじめに

アクセスいただきありがとうございます🍌国際文化学科3年の青木夏海です。6月30日にて、トルコ滞在も終わりを迎えました。今回は近況報告も兼ねながら、この国での生活について総括をします。留学経験そのものについては来月の最終回で取り扱う予定です。



IZMIR ECONOMY UNIVERSITY

留学生としてのメリット



英語「で」学ぶ

英語学習が好きな自分だけど、英語アレルギーみたいなものが、心のどこかにありました。でも学部に入って目的を「英語を学ぶこと」から「英語で科目を学ぶこと」に変えることで、英語に取り掛かることへの抵抗がかなりなくなせたと思います。



大陸を超えた出会い

欧州、アフリカ、中東など、文明の交わるトルコだからこそ、自然と宗教も文化も関係なく学生が集まっています。たくさんの人と話しているうちに、「アフリカの人は…」「ロシア周辺の人は…」といった固定観念がかなり解消されました。



比較的安い費用

他の協定校の国と比べて物価が安いです。節約をすれば親のお金に頼らず、自分の貯金とJASSOの奨学金のみで生活ができます。ただ可能であれば、遊んでお金を使った方がコミュニケーションの機会が増えるから良いと思います。

この大学を選ぶリスク



非英語圏

英語圏外というのはプラスにもマイナスにも響きます。みんながネイティブではないということは、英語学習者の間違いに寛容な環境で、「言語は伝わればいい」と思わせてくれました。一方で、指摘をしてくれる人がいないと誤った文法が定着する可能性が大いにあります。



情報が少ない

留学経験の前例が少ないから全てが探り探りです。個人的に一番苦戦したポイントは、SUACとの単位換算目安、ゼミ参加の方法など、自分が在学中である関係の問題でした。気持ちは常にファーストペンギンになるので、慎重派の方には向いてないかもです🍌



世界情勢

ロシアウクライナ、シリアパレスチナ、全て隣国です。国内ではクルド人との対立もあります。自分自身はこれらに関して危険を感じたことはなかったですが、今後どうなるかはわからないし、何とも言えません。

総合的な評価



個人的には理想的な環境で満足しています。特に国際貿易の分野に出会えたことや、日本人に対してフレンドリーに接してもらったことが、とても嬉しかったです。しかし、度々紹介している留学生の履修システム欠陥や、トルコ語での説明が多い授業など、人によっては不満に思うのかもしれませんが。

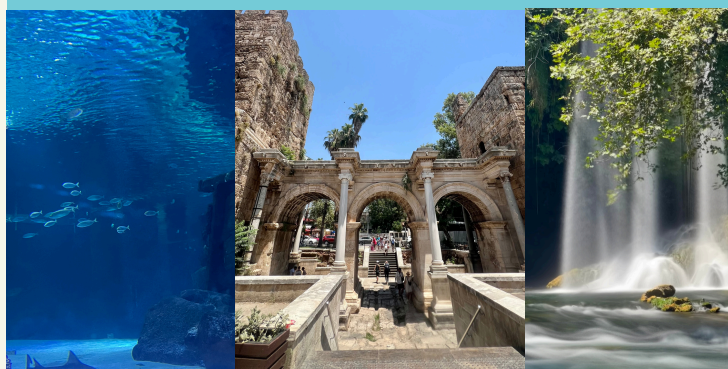


ANTALYA TRIP (6/19-21)

志賀さん、トルコ人、私の3人で2泊3日のアンタルや旅行に行ってきました！リゾート地として有名な場所なので、国内最後の旅行として来れて良かったです！



バスは周りの評判が良くなかったので、飛行機を選びました。観光客人口が多く、英語が通じるお店が多かったです。主に、Konyaaltiビーチ、ハドリアンズゲート、アンタルヤ水族館、Duden滝に行きました。



アンタルヤの天気は、若干日本に似ていて湿気がある分、体感気温がとても高いです。ずっと屋外にいるのはかなり困難でした。お店が開くのは早くても9時からだし、昼過ぎに外に出てもあんまり人はいません。寧ろ、日が落ちてく18時以降が混雑していて、生活時間の違いに驚きました。2日目の夜中にビーチでのんびりすることになったのですが、同じような考えの人々で場が溢れていました。0時になっても泳いでいる人がいました。



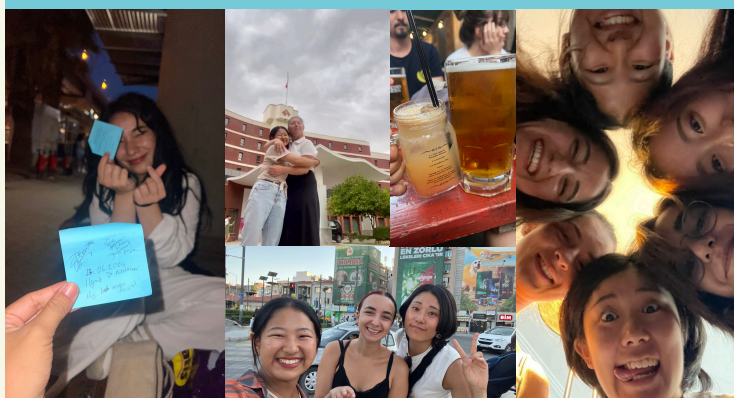
MY BIRTHDAY

今月、21歳の誕生日を迎えました。惜しくもこの日は絶賛期末テストの真っ只中で、違う意味でそわそわしていました。しかし、無事にテストが終わって家に帰ると、親しい友達リビングに集結していて、誕生日パーティーをしてくれました！みんな忙しいのに来てくれて、大感謝です。



FAREWELL TO FRIENDS

トルコを出るということは、仲良くなったみんなと別れなければならないということ。本当にいい友人をたくさん持ちました。日本とトルコは遠く話せていますが、不思議と一生の別れには思えません。またいつか、地球のどこかで会おうね。



CESME

6月だけで5,6回くらい海に行きました…！その中でもçeşmeにあるİlcaビーチがとてもお勧めできる場所でした。大洋に面していないため波が比較的穏やかで、かつ浅い部分が多いので、泳ぐのに適しています。



個人的ランキング！

これまでのトルコ生活を振り返って、印象的だった物事をランキング形式で紹介します。

DOMESTIC TRAVEL



Istanbul

(9月、1月号)



Cappadocia

(3月号)



Pamukkale

(10月号)



FOODS



Turkish breakfast



Kebab

*種類を問わず



Kumpir



Bomba



CATS



1

はじまりの猫 *トルコで見た最初の猫



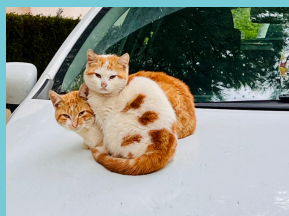
2

怠惰猫



3

近隣住民



トルコあるある



集合時間 (?)

4月号のアテネで文句を言った気がします。比較的、決まっていた時間ちょうどに来てくれる人が少ないです。日本にいると私も人を待たせてしまう人間だけど、ここでは自分がめちゃめちゃ待ちました。でも、テストや大事な時間には遅れないので、何か問題をきたしている訳ではないです。



フットワーク軽い

トルコ人は計画性よりも、柔軟性のあるタイプの人たちです。お店の人が私たちと話すためだけに、英語の話せる友人を電話で呼びつける光景を何度も見ました。その度に申し訳なく思うのですが、この唐突さが日常茶飯事であるとだんだん理解しました。



挨拶のハグ

“Hi~!”とか“Bye~!”とか、挨拶がてら絶対にハグします。日本にはない文化で最初は戸惑うけど、帰国したらそれはそれで寂しくなるんだろうなと思うくらい、気に入ってはいます笑



おわりに

冒頭で述べた通り、トルコ生活は今月で最後ですが、留学レポートとしては、来月のヨーロッパ旅行で締めくくります。トルコありがとう!!!

